

## 教育学研究科教育学専攻（通信課程）学習の成果に係る評価基準

### 【成績の段階と評価結果】

成績の記号	評価（点数）	合否
Aまたは優	100点～80点	合格
Bまたは良	79点～70点	
Cまたは可	69点～60点	
Dまたは不可	59点以下	不合格

## 4. 通信制大学院 博士前期課程

### 1) 2017 年度開設科目一覧

	研究領域	科目名	担当教員	受講方法	単位数	備考	
教育学研究科目	授業研究領域	授業研究A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4		
		授業研究B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4		
		授業研究C (情報教育)	今野 貴之	R T	4		
		授業研究D (教育社会学)	須藤 康介	R T	4		
		授業研究E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4		
		授業研究F (教育行財政)	樋口 修資	R T	4		
	幼児教育研究領域	幼児教育研究A (保育)	齋藤 政子	R T	4		
		幼児教育研究B (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4		
		幼児教育研究C (児童家庭福祉)	石田 健太郎	R T	4		
		幼児教育研究D (音楽教育)	板野 和彦	R T	4		
	障害児者教育研究領域	障害児者教育研究A (障害児者の学習・発達支援)	廣瀬 由美子	R T	4		
		障害児者教育研究B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4		
		障害児者教育研究C (小児保健)	星山 麻木	R T	4		
	論文指導科目	授業研究領域	16SK 以降...授業研究演習A (歴史・理論) 15SK 以前...教育学演習 I a	廣嶋 龍太郎	S R	2	
			16SK 以降...授業研究演習B (実践・評価) 15SK 以前...教育学演習 I b	吉富 芳正	S R	2	
16SK 以降...授業研究演習C (情報教育) 15SK 以前...教育学演習 I c			今野 貴之	S R	2		
16SK 以降...授業研究演習D (教育社会学) 15SK 以前...教育学演習 I d			須藤 康介	S R	2		
16SK 以降...授業研究演習E (教育心理学) 15SK 以前...教育学演習 I o			杉本 明子	S R	2		
16SK 以降...授業研究演習F (教育行財政) 15SK 以前...教育学演習 I n			樋口 修資	S R	2		
16SK 以降...授業研究演習G (生涯学習) 15SK 以前...教育学演習 I l				S R	2	非開講	
16SK 以降...授業研究演習H (基礎看護) 15SK 以前...教育学演習 I m			大島 弓子	S R	2		
幼児研究領域			16SK 以降...幼児教育研究演習A (保育) 15SK 以前...教育学演習 I e	齋藤 政子	S R	2	

	16SK以降...幼児教育研究演習B (児童文化) 15SK以前...教育学演習 I f	羽矢 みずき	S R	2	
	16SK以降...幼児教育研究演習C (児童家庭福祉) 15SK以前...教育学演習 I h	石田 健太郎	S R	2	
	16SK以降...幼児教育研究演習D (音楽教育) 15SK以前...教育学演習 I g	板野 和彦	S R	2	
障害児者 教育研究 領域	16SK以降...障害児者教育研究演習A (障害児者の学習・発達支援) 15SK以前...教育学演習 I i	廣瀬 由美子	S R	2	
	16SK以降...障害児者教育研究演習B (障害児者自立支援) 15SK以前...教育学演習 I j	島田 博祐	S R	2	
	16SK以降...障害児者教育研究演習C (小児保健) 15SK以前...教育学演習 I k	星山 麻木	S R	2	
論文指導	16SK以降...教育学演習 (修士論文指導) 15SK以前...教育学演習 II (修士論文指導)	論文指導教員		2	

## (2) 修了要件

本学通信制大学院 博士前期課程の修了要件は、以下の通りです。

①2年以上在学することが必要です。

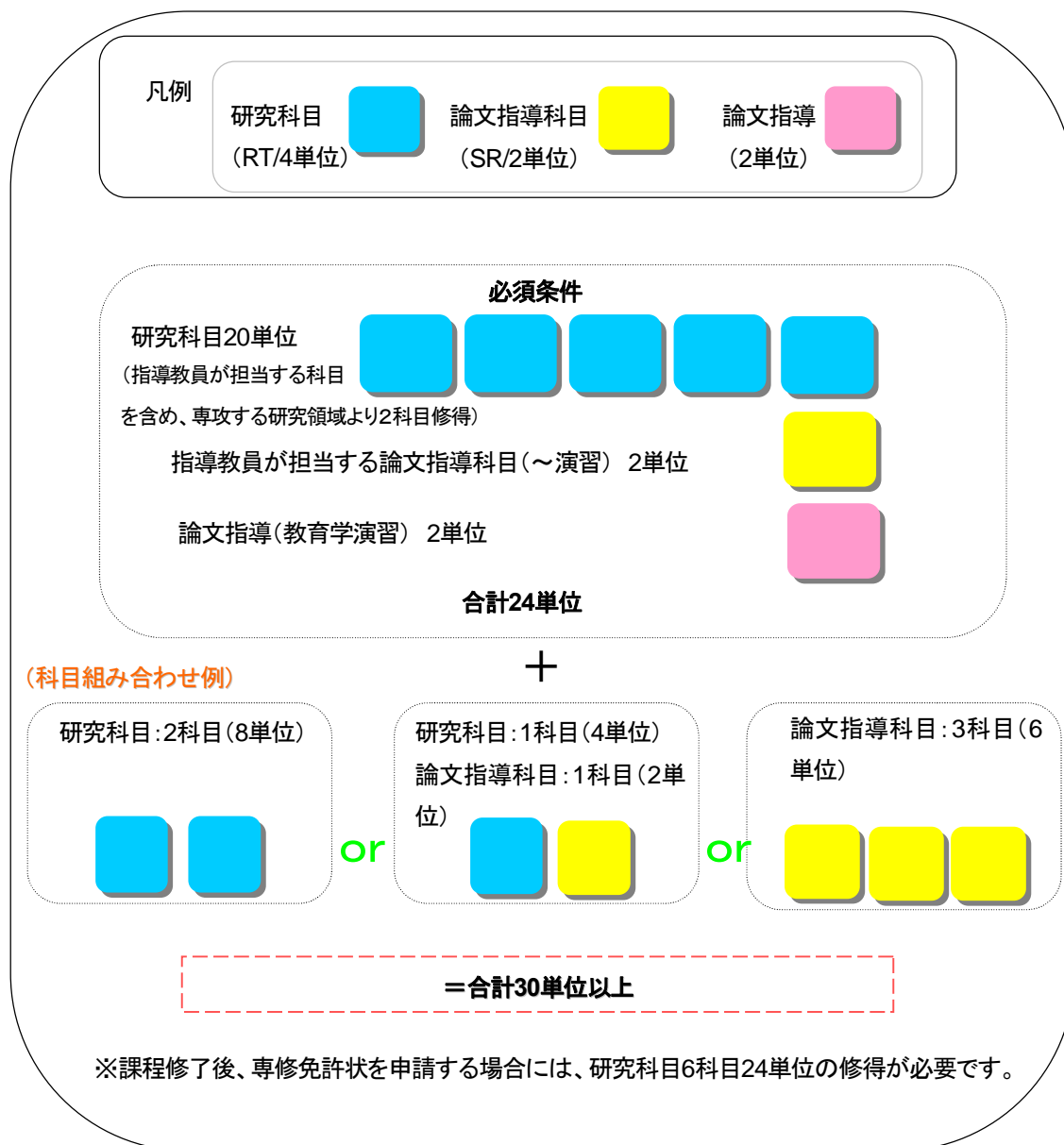
②修得単位について、以下の条件を満たし、合計30単位以上修得することが必要です。

1) 「教育学研究科目」の専攻する領域より指導教員が担当する科目を含み2科目(8単位)の修得、及び同研究領域あるいは他の研究領域から3科目(12単位)、合計5科目(20単位)以上修得することが必要です。

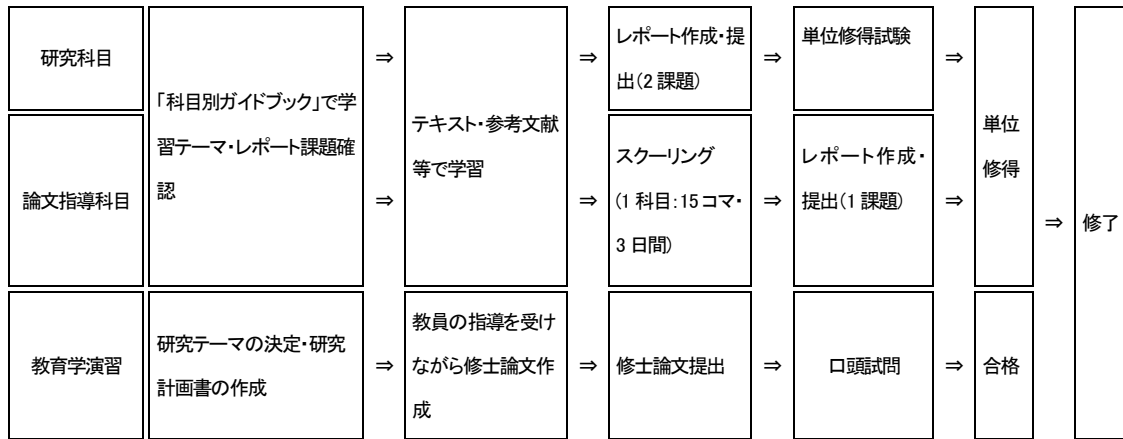
2) 論文指導科目、論文指導において、論文指導教員の担当する科目、各2単位の合計4単位以上を修得することが必要です。

なお、論文指導科目は、4科目(8単位)までが修了要件単位として算入されます。

③学位論文を提出し、学位論文審査、及び最終試験(口頭試問)に合格することが必要です。



### (3) 修了までの流れ (概要)



### (4) 履修制限

- ①単年度につき 28 単位まで履修登録できます。ただし、テキスト配本は、2 年間で最大 44 単位までです。**履修登録した科目は、当該年度のみ有効です。**履修登録した研究科目 (RT 科目) は、できるだけ当該年度 2 月の単位修得試験までに単位を修得できるようにしてください。
- ②履修登録は年度毎に行います。履修登録をして、年度内に単位を修得できなかった科目について引き続き単位の修得を希望する場合は、次年度に再度履修登録 (再履修) してください (試験やスクーリングが合格していて、レポートが不合格の科目含む)。  
Web からの登録はできません。
- ③年度途中での追加履修は原則できません。履修登録の際は修了要件を考慮し、単位不足にならないよう注意してください。
- ④「教育学演習」(論文指導) はテキスト配本がありませんので、テキスト配本単位の 44 単位には含まれません。

### (5) 履修登録ガイド

履修登録に関する注意事項は、以下の通りです。2 年間で修了要件を満たすよう、初年度の履修登録科目を検討してください。

#### ①修了要件についての注意事項

「論文指導科目」(～演習) は 4 科目 (8 単位) まで修了要件として認められます。それ以上の履修等については、履修制限の範囲内での履修、及び単位修得が可能ですが、修了に必要な単位数としては算入されません。

#### ②履修制限についての注意事項

- 1) 履修登録単位数は、単年度につき最大 28 単位となります。初年度に 28 単位履修登録をし、28 単位すべて修得しますと、2 年目には「教育学演習」(論文指導) のみとすることもできます。これについては、単位修得試験やスクーリング日程も考慮の上、各自学習や研究のペース配分を考え、履修登録を行ってください。
- 2) テキスト配本単位数は、2 年間で最大 44 単位です。そのため、2 年目のテキスト配本単位数は次のように計算します。

- a. 初年度履修登録単位数 = 初年度配本単位数
- b. 2 年目配本単位数 = 44 単位 - 初年度配本単位数

- 例1) 初年度：28 単位履修登録 →2 年目：(44-28) =最大 16 単位テキスト配本可  
例2) 初年度：22 単位履修登録 →2 年目：(44-22) =最大 22 単位テキスト配本可  
3) 履修登録は年度内のみ有効です。初年度履修登録をしていて単位修得できなかった科目について、単位の修得を希望する場合は再履修が必要となります。従って、2 年目の履修登録単位数は以下のように計算します。

- a. 2 年目再履修登録単位数 = (初年度履修登録単位数 - 初年度修得単位数) ※1  
b. 2 年目履修登録単位数 = 2 年目新規配本単位数 + 2 年目再履修登録単位数 ※2

例) 初年度 28 単位登録 16 単位修得 a. 28 - 16 = 12 単位 b. 再履 12 単位 + 2 年目配本 16 単位 = 28 単位

※1 初年度未修得単位について 2 年目単位修得の意志がない場合には、テキスト配本単位数の範囲内にて他の科目を履修することができます。

※2 このときの上限は 28 単位となります。また、修了要件以上の単位修得は任意となります。

再履修の単位は、テキスト配本単位の 44 単位には含まれません。上記の場合、テキスト配本単位は、初年度配本 28 単位 + 2 年目配本 16 単位 = 44 単位 となります。

## (6) スクーリング

演習 (受講方法が SR の科目) は、スクーリング (面接授業) 科目となります。年間で最大 4 科目まで履修することができます。ただし、日程が重複して開講される演習を、複数履修することはできませんのでご注意ください。

スクーリング実施予定は、部報「めいせい」にてご確認ください。

### 【スクーリング実施時期】

- ・7 月スクーリング 7 月中旬 (3 日間)
- ・夏期スクーリング (前半) 8 月上旬 (3 日間)
- ・夏期スクーリング (後半) 8 月下旬 (3 日間)
- ・冬期スクーリング 12 月中下旬 (3 日間)

### ① 受講手続き

スクーリングは、年度始めに履修登録した科目のみ受講することができます。

### ② スクーリング事前送付書類

スクーリングの時間割や実施教室等の詳細については、実施の 1 ヶ月～3 週間前を目処に、事務局大学院担当より受講者に発送しますので、必ず目を通してください。

### ③ 欠席

原則として、全日程・全時間の出席が必要ですが、1 コマまでの欠席は認められます。それ以上の欠席がある場合は、単位認定されませんので注意してください。

また、諸事情によりスクーリングの受講が出来ない場合は、当日の授業開始までに事務局大学院担当へ必ず連絡を入れてください。

### ④ スクーリング科目のレポート提出

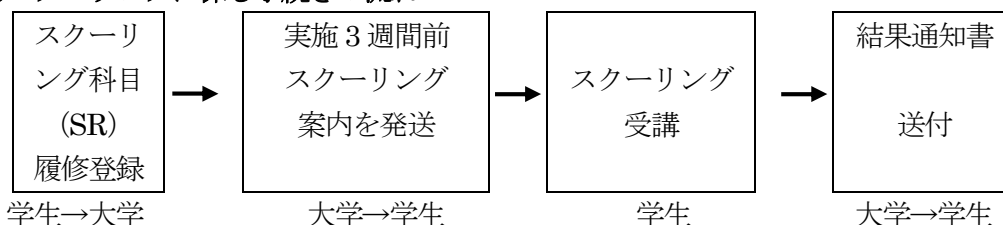
- 1) スクーリング科目のレポートについては、1 通 (2 単位分) の提出が必ず必要です。 また、当該レポートの提出についても、基本的には研究科目と同様に事務局を通じて提出してください。
- 2) スクーリング科目のレポート締切日までに、当該レポートが提出されなかった場合は、スクーリングの成績評価が無効となります。
- 3) スクーリング科目のレポート締切日は、履修した年度の **1 月 31 日必着**です。変更が生じる場合もありますので、詳細は部報「めいせい」にてご確認ください。

### ⑤結果通知書

スクーリング受講後1ヶ月以内に、スクーリングの可否について結果通知書を郵送します。

合格	合否判定科目において、判定基準を満たした科目
否	面接授業の出席日数不足
欠席	面接授業の全日程欠席
不合格	合否判定科目において、判定基準を満たさない科目

### ⑥スクーリングに係る手続きの流れ



### (7) 専修免許状

博士前期課程は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第5条別表第1備考第5号イに規定する、教員の免許授与の所要資格を獲得するための大学院課程として認定を受けています。（課程認定適用開始：平成11年4月1日）

#### <専修免許状の取得方法>

専修免許状取得には、以下の三つの方法があります。

#### ①大学院を修了し、所定の単位を取得して専修免許状を取得する場合

本通信制大学院で取得できる免許状の種類および免許教科は、次表の通りです。ただし、第5条別表1により各種教諭1種免許状を有する方に限ります。

現在有している免許状		取得することができる免許状
幼稚園教諭1種免許状	→	幼稚園教諭専修免許状
小学校教諭1種免許状	→	小学校教諭専修免許状
中学校教諭1種免許状（社会）	→	中学校教諭専修免許状（社会）
高等学校教諭1種免許状（地理歴史、公民）	→	高等学校教諭専修免許状（地理歴史、公民）

※なお、1989年3月以前に、以下の各種教諭免許状を有している場合、その免許状は各1種免許状に該当します。

幼稚園・小学校・中学校・・・各一級普通免許状

高等学校・・・各二級普通免許状

**☆研究科目（4単位）を6科目24単位以上履修し、単位を修得してください。**

#### ②教育職員免許法施行規則第10条の6により専修免許状を取得する場合

前項①に掲げる校種（高等学校を除く。）、教科の免許状を所持している場合、教育職員免許法施行規則第10条の6（以下「第10条の6」という。）で取得する方法があります。第10条の6で取得する場合は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

※ 高等学校教諭1種免許状からの上申は、適用されません。また、本学通信制大学院では、開設科目の関係から、第10条の6による2種免許状から専修免許状への上申はできません。

### ③教育職員免許法第6条別表第3により専修免許状を取得する場合

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の1種免許状を所持し、その該当する学校等で実務が3年以上ある場合は、専修免許状を教育職員免許法第6条別表第3（以下「別表第3」という）で取得する方法があります。別表第3で取得する場合は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

※①～③いずれの方法でも、個人申請（各自が教育委員会に免許状を申請）です。申請に必要な証明書類について、予め勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）にお問い合わせください。



## 5. 通信制大学院 博士後期課程

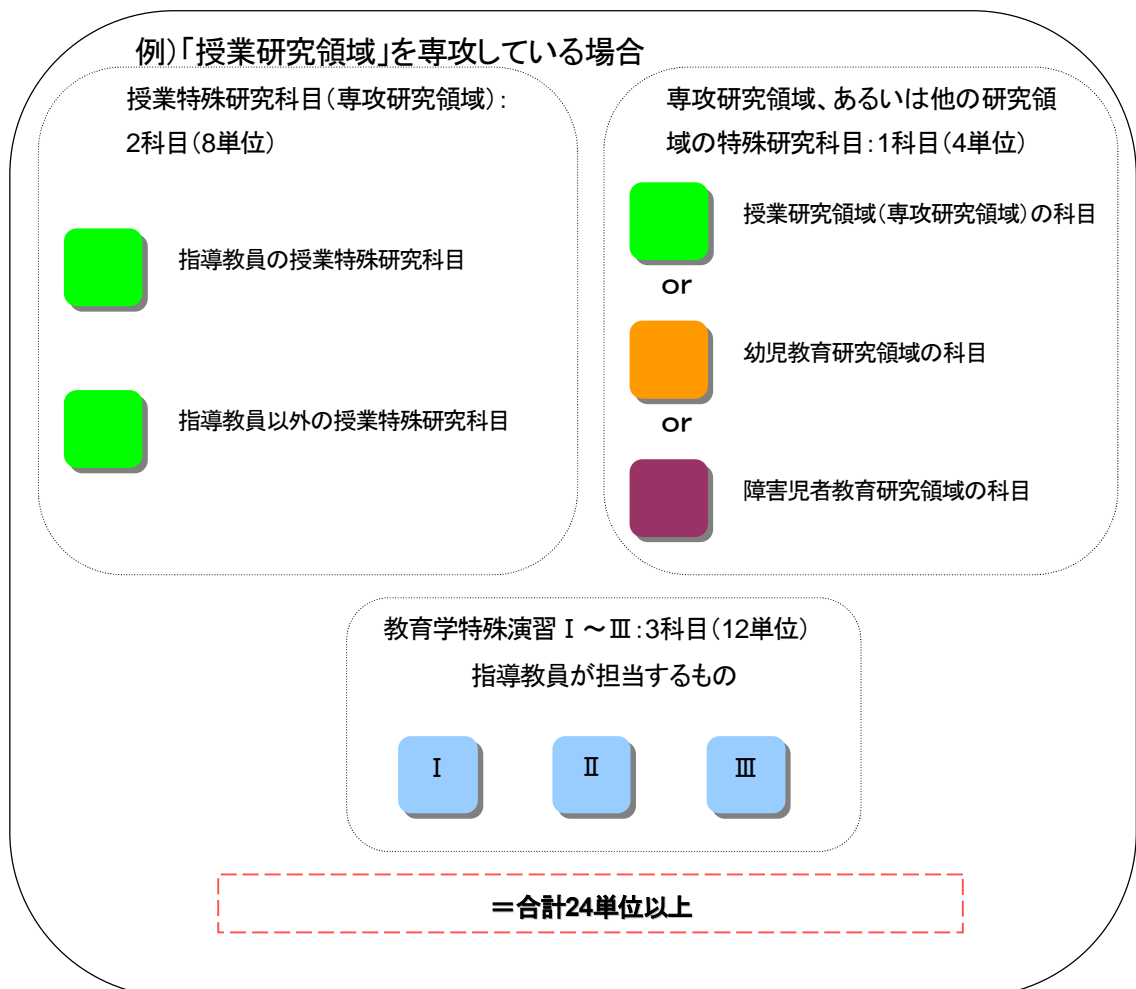
### (1) 2017 年度開設科目一覧

	研究領域	科目名	担当教員	受講方法	単位数	備考	
教育学特殊研究科目	授業研究領域	授業特殊研究A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4		
		授業特殊研究B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4		
		授業特殊研究C (情報教育)		R T	4	非開講	
		授業特殊研究D (教育社会学)		R T	4	非開講	
		授業特殊研究E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4		
		授業特殊研究F (教育行財政)	樋口 修資	R T	4		
	幼児教育研究領域	幼児教育特殊研究A (保育)	齋藤 政子	R T	4		
		幼児教育特殊研究B (音楽教育)	板野 和彦	R T	4		
		幼児教育特殊研究C (児童家庭福祉)	垣内 国光	R T	4		
		幼児教育特殊研究D (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4		
	障害児者教育研究領域	障害児者教育特殊研究A (障害児者の学習・発達支援)		R T	4	非開講	
		障害児者教育特殊研究B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4		
		障害児者教育特殊研究C (小児保健)	星山 麻木	R T	4		
	論文指導	教育学特殊演習 I、II	廣嶋 龍太郎			各 4	
		教育学特殊演習 I、II、III	吉富 芳正			各 4	
教育学特殊演習 I、II、III		杉本 明子			各 4		
教育学特殊演習 I、II、III		樋口 修資			各 4		
教育学特殊演習 I、II、III		齋藤 政子			各 4		
教育学特殊演習 I、II、III		板野 和彦			各 4		
教育学特殊演習 III		垣内 国光			各 4		
教育学特殊演習 I		羽矢 みずき			各 4		
教育学特殊演習 I、II、III		島田 博祐			各 4		
教育学特殊演習 I、II、III		星山 麻木			各 4		

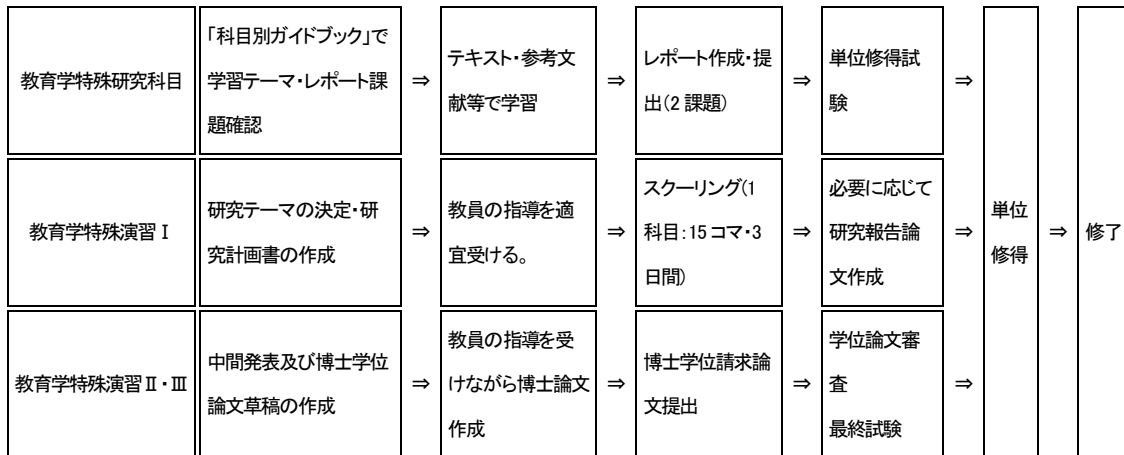
## (2) 修了要件

本学通信制大学院 博士後期課程の修了要件は、次の通りです。

- ①3年以上在学することが必要です。
- ②修得単位について、以下の条件を満たし、合計24単位以上修得することが必要です。
  - 1)「教育学特殊研究科目」の1研究領域から、指導教員の担当科目を含み2科目(8単位)の修得、及び同研究領域あるいは他の研究領域から1科目(4単位)、合計3科目(12単位)以上修得することが必要です。
  - 2)指導教員が担当する「教育学特殊演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を各4単位、合計12単位修得することが必要です。
- ③博士学位請求論文を提出し、学位論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが必要です。



### (3) 修了までの流れ (概要)



### (4) 履修制限

- ①特殊研究科目は年間 16 単位まで履修することができます。従いまして、3 年間で最大 48 単位まで履修可能となります。**履修した科目は、当該年度内のみ有効です。**
- ②年度内に単位を修得できなかった科目で、引き続き学習し、単位を修得したい場合は、翌年度、再履修してください。再履修科目についても、年間の制限単位数 (16 単位) の中に含まれます。
- ③**年度途中で追加履修はできません。**あらかじめご注意ください。
- ④教育学特殊演習 I、II、III (博士論文研究) は年次進行により 4 単位ずつ履修します。年間制限単位数の 16 単位には含まれません。

### (5) 教育学特殊演習

- ①教育学特殊演習科目は博士論文研究となります。
- ②「教育学特殊演習 I」は、各自の指導教授が担当する博士前期課程のスクーリングを受講することにより、2 単位分を充当します (スクーリング日程は、部報「めいせい」を参照してください)。
- ③「教育学特殊演習 I」では 2 単位分相当、「教育学特殊演習 II・III」においては 4 単位分相当の博士論文研究指導 (面接・通信) を指導担当教員より受けることになります。
- ④研究指導は「教育学特殊演習指導報告票」に記録をし、「教育学特殊演習 I・II・III 指導報告票」は 1 月下旬に事務局へ提出をしてください。但し当該年度に博士論文を提出される方については、教育学特殊演習 III の指導報告票を博士論文提出時に併せて事務局大学院担当に提出してください。